

要申込

2026年

東京大学 履修証明プログラム「職域・地域架橋型 一価値に基づく支援者育成」
TICPOC※ 一般公開シンポジウム

ピアサポートワーカーの 学びはどうあると良いのか

— 制度・組織と当事者性のはざまで —

13:00~14:40

場所: 東京大学内
(本郷キャンパス)

方法: 対面

ピアサポートワーカーとして働いていると、時に思い描いていた理想の営みと、現場で求められる役割とのあいだで揺れることも少なくありません。本シンポジウムでは、こうしたリアリティギャップや組織の規範との関係にも目を向けながら、何を学び、何を失わずにいられるのかという視点から、ピアサポートワーカーの学びのあり方を考えます。

シンポジウム 登壇者(予定) (※12:00より入室可)

川村 有紀(オープンスペースぽかぽか)

精神科医療のユーザーであり、当事者としての経験と専門職としての立場の双方を活かしながら精神保健福祉士として実践を行う。当事者活動としてオープンスペースぽかぽかを運営し、誰もが安心してその場にいられる関係性や場づくりについて実践と探究を続けている。本学ピアサポートワーカー研修プログラム(TICPOC_D-Iコース)にも従事している。

中田 健士(株式会社MARS)

社会福祉協議会の職員を経て、2012年に医療法人社団宙麦会のメディカルサポート法人として設立された株式会社MARS入職。ピアサポーターと共に働く福祉事業所を複数立ち上げ、日々ピアサポーターと共に実践を重ねる精神保健福祉士。全国各地で実施されている障害者ピアサポート研修にもアドバイザーとして関与している。

佐々木 理恵(東京大学 医学のD&Iセンター)

20代後半に精神的不調を経験し、精神科受診。入退院やデイケアへの通所等をするなかで、当事者仲間やリカバリーという考え方に出会う。ピアスタッフとして医療機関や福祉事業所等での勤務を経て、2019年からは本学ピアサポートワーカー研修プログラム(TICPOC_D-Iコース)に従事している。

司会: 宮本 有紀(東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野)

お問合せ先・申込 (申込メ切: 9/8(火) 17時まで)

申込フォーム: <https://forms.gle/GnTX5uNJBzNZCBPV9>

※定員になり次第、申込受付はメ切とさせていただきます。

- 本シンポジウムに関するお問い合わせ
✉ utokyo.coproduction.training@gmail.com
- TICPOC 公式WEBサイト
<https://co-production-training.net/>
- X (旧Twitter)
http://twitter.com/TICPOC_UT

TICPOC

検索



申込は
こちらから



TICPOC
公式サイト

タイムスケジュール(目安です)

13:00~	登壇者による 話題提供と座談会
14:00~	フロアとの意見交換
14:40	閉会

※ 定員: 90名程度(先着順)

※ 参加対象: ご関心ある方どなたでも

※ お申込み頂いた方には、実施数日前に会場等を記したご案内メールを送付いたします。

※ 12時より受付・入室可能。開始時間まで、お部屋を開放致しますので交流等にご活用ください。

※ ペットボトルやステンレスボトル等の蓋つき容器入りの飲み物は持ち込み可能です。室内で食べることはお控えください。

※ オンライン実施の予定はありません。

シンポジウム終了後の15時からは、東京大学履修証明プログラム_ピアサポートワーカー研修 2027年度研修生募集説明会を実施致します。ご関心を寄せてくださる方は、説明会へのご参加も歓迎いたします。

【主催】 東京大学大学院医学系研究科・医学部
医学のダイバーシティ教育研究センター
東京大学医学部附属病院 精神神経科
【事務局】 東京大学医学部附属病院 精神神経科 TICPOC事務局

※TICPOCとは

TI: Trauma-informed care
(トラウマが存在する可能性を熟知して支援にあたること)
CO: Co-production
(当事者と専門職で共同創造していくこと)
OC: Organizational change
(これらの理念を実践できるよう組織を変革すること)